校長室雑記

笑ってごらん

第587号　H.29.6.13発行

～今日のことば～
気取らないこと。とにかく飾らない。自分を大きく見せようとする段階で人は嘘をつくし、それはすぐに見破られるものですよ。　（志村けん）

◇◆ふむふむ･･･、冷やしてもなかなかイケるな･･･。もちろん、『天使の卵』パンのことである。手元のパンが消費期限当日であったために冷蔵庫に入れた。その後、食べてみての感想である。冷やすと、当然のことながら、パン生地も中のクリームもフワフワ感を失い固くなる。しかし、この蒸し暑い気候の中では、クリームの冷たさが心地よく感じられた。さてさて、販売期間も余すところ一週間となった。県外在住の卒業生も鹿児島から送ってもらって食べているらしい話も耳にした。母校の活動は先輩にとっても嬉しいもののようだ。一人でも多くの人に試してもらいたいものである。　◇◆10日（土）は部活動激励会を実施。保護者を含め約80名の方々に来場いただき、九州・全国大会へ臨む選手達への壮行会を兼ねて盛大に行った。合唱部・体操部・書道部もそれぞれ活動紹介の意を含め、パフォーマンスという形で激励の気持ちを表現した。加えて、『天使の卵』パンも配付。来場くださった方々も喜んでくださったことと思う。選手諸君は今後も引き続き練習をしっかり頑張り、応援してくださる多くの方々のためにも良い結果を挙げて欲しい。

◆関連して、17日（土）～19日（月）、テニスの九州大会が本県で開催される。鹿児島県大会の覇者鳳凰男女は九州大会でも優勝を目指す。地元開催であり、県内各種大会で経験のある慣れたコート（東開コート及び知覧テニスの森コート）ということもあって、他県のチームよりホームアドバンテージがあるし、気持ちにも余裕があるだろう。是非、尽力して欲しい。　◇◆前号でも少し紹介したが、昨日より本校普通科特進コースⅠ類の卒業生２名が新たに教育実習を開始している（23日まで）。日本経済大学経済学部経済学科４年の平神竜先生及び松山大学経済学部経済学科国際経済コース４年の林三紀子先生である。平神先生は日本史担当、林先生は世界史担当。本校在学中、平神先生はバスケットボールを、林先生は駅伝を頑張っていた。両名とも主に１年生のクラスを担当することになると思うが、皆さんの先輩でもある２人ゆえ、機会を見つけて、本校在学中のこと、大学生活についてなど様々なことを聴いてみると参考になると思うよ。　◇◆「九州・山口県が梅雨入りしたとみられる」と先日報じられた。今年はどうやら例年に比して降水量は増す予測であるという。近年は洪水を心配しなければならないほど叩き付けるような雨が長時間降ることがある。また、この長梅雨の最中に夏に向け気温も上昇していくので蒸し暑くなる。覚悟！

～・

感謝道

◇◆又吉直樹著『劇場』を読んだ。これから読む人もいるだろうからネタばれしないように気をつけて紹介しよう。前作の『火花』同様、決してサクセスストーリーではない。「あ～、こんな人もいるのかもな･･･」という人間描写が凄まじい。フラットな気持ちで読み始めたはずなのに、中盤以降は心のどこかで楽しい展開を期待している自分がおり、しかしながら期待通りには展開しない。逆に、著者の思惑・術中にハマってしまったかの如く苛立ちをもって読み終える（だから『激情』の方がしっくりくる）。読後たまたま聴いたラジオで『劇場』の書評をやっていたのを聴いたが、そこでは「読後感スッキリの作品だけが良い作品とは限らない」と言っていた。確かにそうなのかも知れない。私がこれまで読んだ本の中でも１，２を争うほど後味が悪い。しかし、ものすごく印象に残ったことは確か。私にとって、新たな読書の感覚を与えてくれた秀逸作となった。